

### 多自然川づくり取り組み事例

タイトル : 吉井川河口部における干潟保全に向けた調査・検討		
水系/河川名 : 吉井川水系/吉井川	河川分類 : 大河川	
河川の流域面積 : 2110	整備計画流量 : 7350m <sup>3</sup> /s	セグメント : 3
事業 : 環境整備	事業開始年度 : 年度	
目標設定 : 定性的	段階 : P(計画時)	
課題・目的(主な) : 湿地、ヨシ原の保全・再生・創出、干潟、浅場の保全・再生・創出		
工法(主な) : その他		
配慮事項(主な) : その他		

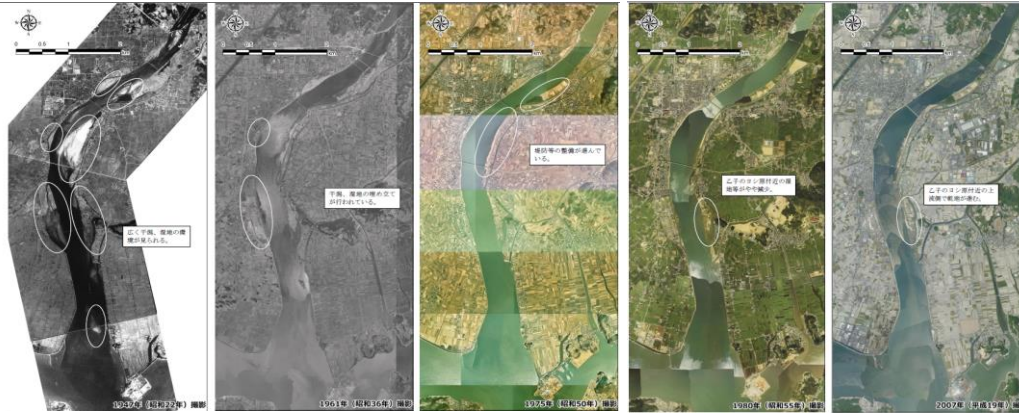
#### 背景・課題、目標設定

##### <背景・課題>

吉井川の下流部においては、過去、干潟や中州が広範囲にわたって形成されていたものの、昭和20~30年代の河川整備によって、その干潟が消失してしまい、現在においても回復していない。そのうち、乙子地区のヨシ原は、「永江川河口湿地」として日本の重要湿地500(環境省2001)に記載されており、全国的に見ても希少性の高い湿地環境となっているため、この湿地の維持は、吉井川における自然環境の保全の上で、大きな課題といえる。

##### <目標>

干潟再生に向けて、有効となる方策を調査・検討し、今後の自然再生事業の事業化へとつなげる

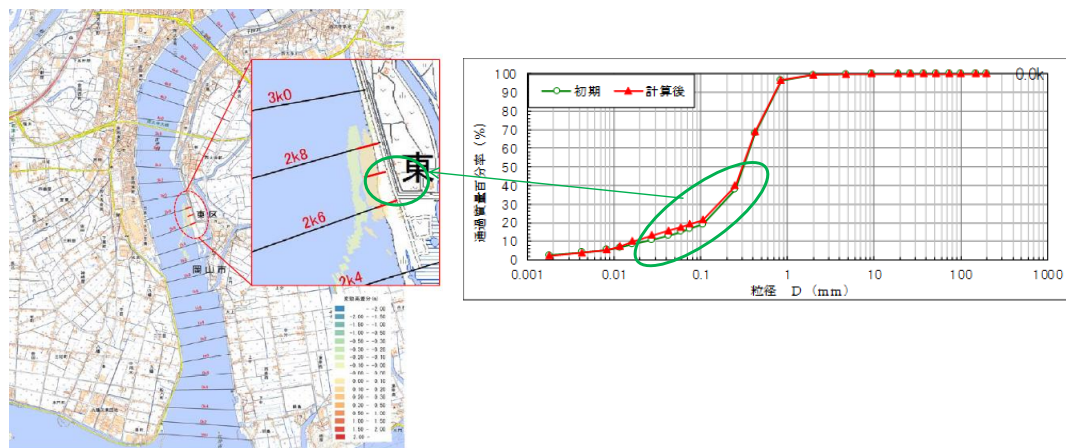


吉井川下流部の変遷(垂直写真の比較)

#### 取り組み内容・対策例(1/2)

○水制工設置による土砂堆積の効果を検証

- ・平面2次元流況解析及び河床変動解析モデルを構築
- ・既往最大流量及び年平均最大流量の2パターンで解析
- ・水制工設置有無の河床変動解析の比較より、水制工の効果で土砂堆積を促進



吉井川下流部の変遷(垂直写真の比較)

## 取り組み内容・対策例(2/2)

## モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

## ＜今後の対応＞

- ・水制工の影響を検討した河床変動解析結果を踏まえ、現地での試験施工を実施
- ・土砂堆積状況やヨシ原復元の状況をモニタリング
- ・河川管理者のみならず、地元や地域等と協働したモニタリング、維持管理方策について検討

## 備考